

2009年10月5日

2009年度「大学院生海外学会発表支援制度」選考結果のお知らせ

選考委員長 外山みどり

標記制度について、学会ホームページを通じ、本年3月31日を期限として募集を行いましたところ、4名の応募がありました。早速、渉外担当常任理事（外山みどり）を委員長とし、理事および一般会員の中から、青野篤子、相川充、飛田操の各氏を委員として、選考委員会を構成し、慎重に審議致しました。その結果を踏まえ、常任理事会、理事会の議を経て、以下の4名を支援対象にすることに決定致しましたので、ご報告致します。

支給金額は、前年度通り、航空運賃の半額に、学会開催期間日数×5000円を加算した金額となっております。

なお、支援対象候補者は、本年6月初旬までに常任理事会・理事会の承認を受けて決定し、本人に通知されておりますが、その時点では、発表の採択決定がなされていない学会が含まれておりましたため、全員の発表採択通知が届いた後の公表と致しました。

支援対象者一覧（五十音順）

- ・阿形 亜子（大阪大学大学院人間科学研究科）
発表題目：The effects of group achievement on individual member's performance
発表学会：The 11th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology
学会開催地：ラスベガス（アメリカ合衆国）

- ・縄田 健悟（九州大学大学院人間環境学府）
発表題目：The effect of being seen by ingroup members on intergroup vicarious retribution
発表学会：The 11th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology
学会開催地：ラスベガス（アメリカ合衆国）

- ・藤原 健（大阪大学大学院人間科学研究科）
発表題目：The interaction of positive affect and social skills in a dyadic communication context
発表学会：The 8th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology
学会開催地：ニューデリー（インド）

- ・油尾 聡子（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）
発表題目：The effect of appreciative messages and descriptive norms on bicycle parking behaviour and affect
発表学会：The 11th European Congress of Psychology
学会開催地：オスロ（ノルウェイ）

* 発表題目は、応募書類に記載されたもの。